

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

総務財政委員会

自治基本条例について

本委員会では、札幌市を視察しました。

札幌市では、平成18年に条例が制定されました。条例は、約6ヶ月間の準備、周知期間を経て、19年4月から施行されています。

この条例は、「市民が主役のまちづくり」を進めるためのルールであり、ポイントは「情報共有」と「市民参加」です。

札幌市は、まちづくりに必要な情報をわかりやすく積極的に提供し、提案や話し合いができる参加の場を広げて、市民自治を実感できるまちづくりを目指しています。

嘉麻市において、20年度には「住民自治」を起点とする協働のまちづくりを理念とした条例が制定される予定です。



(嘉麻市自治基本条例検討委員会)

嘉麻市においても協議を重ねています。

民生文教委員会

少子化・子育て対策

本委員会では、福島県田村市を視察しました。

田村市は、福島県の中部に位置し、平成17年3月に5町村が合併し形成された市で、人口は約4万3千人、高齢化率は26・8%と嘉麻市に類似しています。

同市では、少子化や子育て対策に特に力を入れています。

主な支援策は、4、5歳児の市立保育所及び市立幼稚園の保育料無料化、学童保育所利用料の無料化、出生祝金5万円支給、小学校終了まで乳幼児医療費の助成、父子手当年額3万円支給など13項目にわたり、支援経費として18年度は、約1億800万円を支出しています。

同市では、子育て世代の転入による人口増を狙っており、問い合わせも多いということです。

産業建設委員会

社会人野球チームへの自治体支援

茨城県稲敷市は、平成17年3月に3町1村で合併し、人口は約48200人の自治体であり、社会人野球チームの茨城ゴールデンゴールの支援を行っている。

主な支援としては、野球場の整備や、後援会への人的支援などであり、後援会を中心に支援活動を行っている。

また、地域においても、少年野球教室や地域イベントに積極的に参加してもらおうことにより、地域の活性化につながり、さらには選手への支援活動を通して地域の一体感が醸成されている。

この視察を通して、昨年3月から嘉麻市を本拠地として活動している「嘉麻市バーニングヒーローズ」への具体的な支援策を協議し、地域活性化を図る事業として取り組む必要があると強く感じた。



(稲敷市桜川総合運動公園野球場)



(鴨生保育園子育て支援センター)